

●公開実験のおしらせ 7/17 in 北大

北海道大学の実験室でSWスラブの公開実験が行われます

量産化されている品質が高い部材を使ってSWスラブ（パネル）をつくり、橋と建築の分野での応用をはかります。

土木も建築の分野でも、昨今の社会情勢により、物価が高騰し、軒並み工事が先送りとなっています。そういった時代であるからこそ、「性能単価」「耐力単価」を考える必要があると考えます。規格化、量産化されている住宅の部材は、高性能で安価な部材が開発されてきました。そのような部材を使って土木分野や建築での大きな構造体をつくるのが、合理的だと考えました。



時間 2014年7月17日 午前10時、午後1時の2回

場所 札幌市北区北12条西10丁目 北海道大学 工学部 開発科学実験施設

実験 木材：住宅用構造用合板、スチール板：土木用のスーパーダイマー、の複合板の載荷実験：ひずみ、応力、破壊強度などの計測を行います

主催：渡辺昇名誉教授

林川俊郎教授 工学研究院 北方圏環境政策工学部門 寒冷地建設工学分野

渡辺 治 シビル設計コンサルタント

協力：渡辺治建築都市設計事務所、北條鉄工

